資料２２

第１回八千代中学校・広野小学校適正規模の確保等地域検討委員会　議事概要

令和８年６月４日（木）１９：３０～

八千代中学校２階フレンドホール

1　開会

2　教育長挨拶（村松教育長）

ファシリテーター挨拶（北海道教育大学釧路校　へき地・小規模校教育研究センター　教授）

3　委員長選出（指名推薦により、坂田明彦委員を委員長に選出）

4　副委員長選出（指名推薦により、桜井貴文委員を副委員長に選出）

5　会議

議題⑴　地域検討委員会の概要

事務局から、資料４「八千代中学校・広野小学校適正規模の確保等地域検討委員会設置要綱」に基づき、地域検討委員会の概要について説明

主な質疑　なし

議題⑵　これまでの適正規模の確保等の取組み状況

事務局から、資料５「適正規模の確保等に関する取り組み」、資料６「児童生徒数及び学級数の推計方法」及び資料７「帯広市立小中学校の適正規模の確保等に関する計画（後期計画）の概要」に基づき、取り組み状況について説明

主な質疑　なし

議題⑶　八千代中学校・広野小学校の現状

事務局から、資料８「令和８年度 児童生徒数 ・ 学級数」、資料９「八千代中学校・広野小学校の通学区域 及び近隣校」及び資料 10「八千代中学校・広野小学校における教職員配置の状況」に基づき、現状について説明

主な質疑

問：子どものスクールバス乗車時間に上限はあるか？

答：国では、１時間以内を目安としている。

問：広野のスクールバス乗車時間は、最大でどのくらいか？

答：現在の最大乗車時間は、２５分程度である。

議題⑷　今後の会議の進め方

事務局から、資料 11「八千代中学校・広野小学校適正規模の確保等地域検討委員会の会議計画（案)」に基づき、今後の会議の進め方について説明

主な質疑　なし

議題⑸　意見交換

ア　地域への意見聴取について

主な意見

・ＰＴＡや町内会を通して、地域全体の意見を把握する必要がある。
・今後の学校のあり方について、地域に対して、アンケートを実施してほしい。
・町内会に協力してもらい、現在学校に通っている児童生徒の保護者に限らず、地域の全員の意見を聴取することが大切である。
・過去の地域説明会は参加者が少なかったため、改めて地域全体の意見を確認する必要がある。

事務局からの対応方針

・昨年度の地域説明会での意見では、このままで良いという意見はあまりなかった。
・地域へのアンケートについては、実施方法等について検討していく。

イ　考えられる方向性について

主な意見

・協議の方向性を明確にする必要がある。
・考えられる具体的な方向性について、事務局から例示してほしい。
・この委員会でどのようなことを協議するのか、具体的に示してほしい。

事務局からの対応方針

・この委員会は、統合等を前提にしたものではなく、子どもの数が減少しており、様々な課題が出てきている中で、子どもたちにとってのより良い教育環境をどのように実現していくのかということについて、様々な意見をいただきながらまとめていくものである。
・考えられる方向性について、次回までに資料として準備する。

ウ　今後の協議事項について

主な意見

・他の地域との統合を協議する上での課題は、児童生徒の通学距離である。

・教職員の数が少ないことも、協議するべき課題である。

・統合を協議するなら、統合先の児童生徒との交流の時間が必要である。

・子どもたちにとって、どのような環境が良いのかということを考えていくべき。

・子どもたちの意見も参考にして、検討していければと思う。

事務局からの対応方針

・ご意見を踏まえて、次回の会議までに具体的な方向性とともに課題等についても整理する。

議題⑹　その他

第２回会議の開催日について、７月３日（金）を候補日とすることに決定

6　閉会